



平成22年度一般会計補正予算(第5号)及び特別会計補正予算4議案が可決されました。

一般会計

子ども手当システム改修

子ども手当制度改正対応システム改修経費の債務負担行為について。

Q **子ども支援課長** 3歳未満の額が1万3000円から2万円に改定されるためのシステム改修費で、債務負担行為を設定した。

しかし、子ども手当の行方が不明でこの改修が児童手当に戻る改修となることも考えられる。

また、国からの指示で23年度予算に計上したものについて、国が10分の10の補助をするとのことである。23年度対応としたものである。

坂戸駅南口エレベータ整備

Q **事業費の負担について。**

A **財政課長** 総事業費が1940万円で、国のまちづくり交付金(社会資本整備総合交付金)が648万円であったため、残りが坂戸市と鶴ヶ島市で646万円ずつの負担とした。市の負担のうち、県補助金が320万円で、県のおふるさと創造貸付金から320万円を起債した。



坂戸駅南口

付金(社会資本整備総合交付金)が648万円であったため、残りが坂戸市と鶴ヶ島市で646万円ずつの負担とした。市の負担のうち、県補助金が320万円で、県のおふるさと創造貸付金から320万円を起債した。

公民館使用料

Q **有料化されたが約200万円の減額要因は。**

A **富士貝公民館長** 当初は、実績に基づき914万3000円を見込んだが、減額、免除の団体や集會室等をステージ部分やフロア部分のみの利用にする、または小さい部屋にする等の団体があったため減額となったものである。

土地開発基金財産取得事業

Q **土地開発基金の土地の内容と今後の取得予定について。**

A **財政課長** 土地開発基金で本年度末に残る約9億円の土地

の内容は、庁舎用地、杉下小学校用地、東部保育所用地、第二小学校用地、運動公園第二期区域用地、海洋センター用地等がある。今後、一般会計に所管換えを行っていきたいが、時期等についての計画は立っていない。

Q **土地開発基金財産藤金地区内取得事業について。**

A **財政課長** これは共栄鶴ヶ丘線の用地として取得したが、暫定的に、地元の自治会の駐車場として貸し出している。

道路交通安全対策事業

Q **事業費472万5000円の内容について。**

A **道路建設課長** あんしん歩行エリアとして20年度に埼玉県から指定された鶴ヶ丘、松ヶ丘地

感染症予防対策事業

Q **全額公費負担となった予防接種の受診者への対応は。**

A **保健センター所長** 子宮頸がんワクチン、小児の肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンについては、接種を始めた1月25日に遡って公費負担とし、接種費を負担した人に、償還金として自己負担額を返還するものである。

児童・生徒就学支援事業

Q **就学支援事業の状況は。**

A **学校教育課主席主幹** 当初は、小学校で453人、中学校で267人を見込んでいたが、1月

末現在の認定者数がかなり増えていることから、小学校で26人分、中学校で23人分を追加補正するものである。

民間保育所支援事業

Q **減額の理由は。**

A **子ども支援課長** 定員に達してはいるが、結果として保育単価の高い低年齢の子どもの入所が予定より少なかったことによる減額である。



▼3月補正予算の状況 (単位:千円)

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	377,141	18,871,548
国民健康保険特別会計	195,424	6,490,699
老人保健特別会計	△60	8,683
後期高齢者医療特別会計	△10,801	360,363
介護保険特別会計	153	2,701,472

▼一般会計補正予算の内訳 (単位:千円)

歳入(財源)の内訳	補正額
市税	160,000
地方交付税	47,533
使用料及び手数料	△2,022
国庫支出金	47,020
県支出金	44,556
財産収入	74,940
繰入金	△305,521
繰越金	326,923
諸収入	△5,888
市債	△10,400
歳入合計	377,141

歳出(使途)の内訳	補正額
総務費	183,507
民生費	39,884
衛生費	6,939
農林水産業費	22
土木費	70,223
消防費	△26,970
教育費	19,621
公債費	△16,615
諸支出金	100,530
歳出合計	377,141